

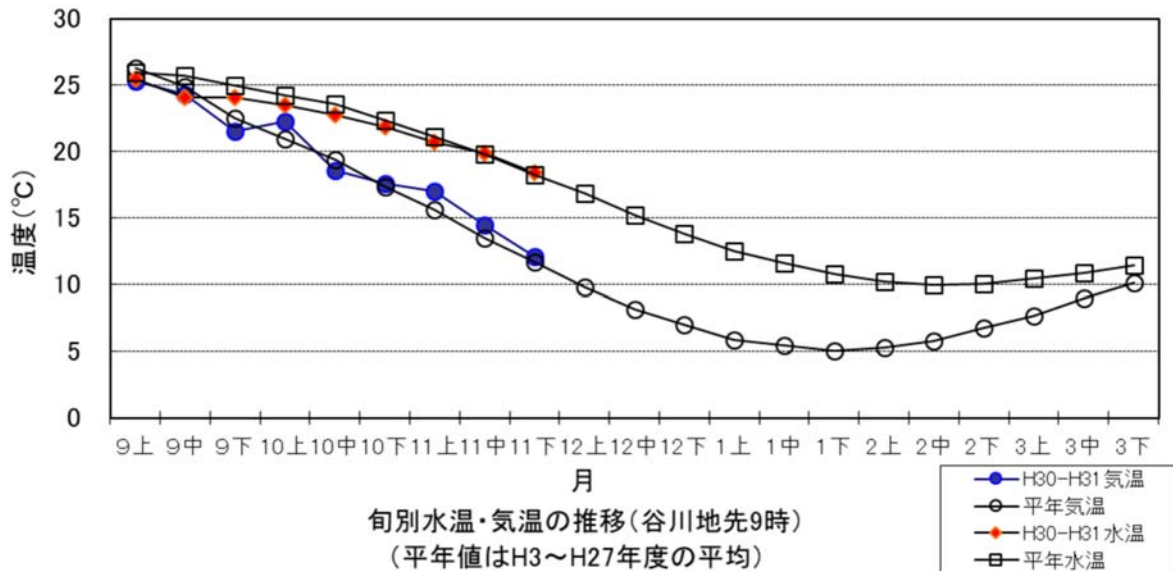
藻類養殖情報

(No.2) 平成30年12月
大阪府立環境農林水産総合研究所
水産技術センター

○漁場環境

気温(谷川):11月は平年より0.2~1.3℃高く推移しました。

水温(谷川):11月上旬は平年より0.4℃低くなりましたが、11月中・下旬は平年並みとなりました。

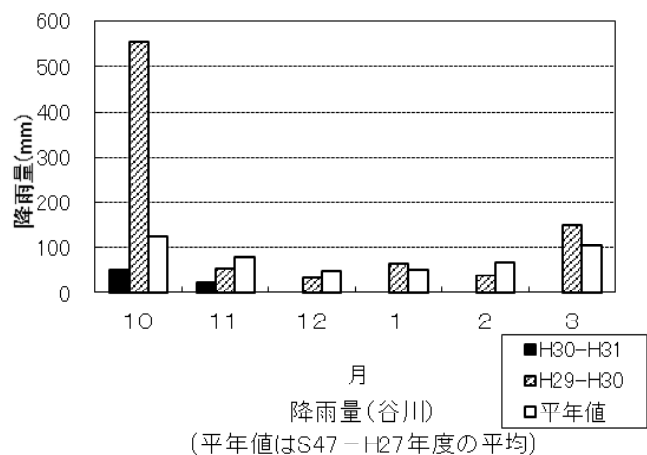


(より詳細な水温状況は、漁協に週一回FAXしています。水産技術センターホームページ(URL: <http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>)にも水温情報がありますのでご参照下さい。)

また、携帯電話向けの情報提供もしていますので、右のQRコードを読み取ってご参照ください。



降雨量(谷川):11月の降雨量は平年値の1/3に達しませんでした。



塩分:各地区の塩分は31.52～32.84でした。

リン:各地区のリン濃度は、0.54～1.05 $\mu\text{mol/l}$ となり、ノリ・ワカメとも十分な濃度でした。

(ノリの色落ち警戒濃度は0.5 $\mu\text{mol/l}$ 、ワカメの警戒濃度は0.1 $\mu\text{mol/l}$ としています。)

窒素:各地区の窒素濃度は、6.87～16.69 $\mu\text{mol/l}$ でした。谷川ではノリの色落ち警戒濃度を下回りましたが、ワカメには十分な濃度でした。

(ノリの色落ち警戒濃度は10 $\mu\text{mol/l}$ 、ワカメの警戒濃度は2 $\mu\text{mol/l}$ としています。)

漁場調査結果 (12月3日)

場所	岡田浦	尾崎	西鳥取	下荘	谷川 (北)	谷川 (南)
塩分 (psu)	31.54	31.52	31.53	31.47	32.30	32.84
リン ($\mu\text{mol/l}$)	0.93	0.70	0.82	1.05	0.62	0.54
窒素 ($\mu\text{mol/l}$)	16.69	11.57	14.20	15.59	8.36	6.87

○赤潮発生状況

12月3,4日の海洋観測では赤潮の発生は認められませんでした。

大阪湾の赤潮情報については下記の水産技術センターホームページをご参照ください。

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/akashio/index.html>

○養殖状況(12月3日)

ノリ

冷凍入庫は、西鳥取では11月5日～12日に、尾崎では11月15・16日に行われました。西鳥取では冷凍入庫せずに育苗から養殖に移行した網もあり、11月28日から順次、単張りに移行しています。冷凍庫からの出庫・張り出しは、西鳥取では11月23日から、尾崎では11月25日から順次行われています。養殖開始直後のノリ葉体の生長は順調でしたが、12月1日頃から食害や葉体の破損・流失が発生し、生長に停滞がみられました。

ワカメ

徳島県産種糸の入荷が遅れたため、岡田浦、尾崎、西鳥取、下荘では11月中旬から12月上旬に養殖が開始されました。田尻でもほぼ同時期に養殖が開始されています。谷川では、10月25日から試験的に仮沖出した種糸を11月16日から、11月2日・9日から仮沖出した種糸を11月23日以降に親縄に取り付け沖出しされています。11月23日から仮沖出した種糸については、12月上旬以降順次養殖に供される見通しです。

○病害異常

ノリ:尾崎と西鳥取で養殖中のノリ葉体を12月3日に顕微鏡観察したところ、生理障害で生じた細胞流失による微細な損傷が幾つか認められました。12月上旬に発生したノリ葉体の生長停滞は、この損傷により葉体が破損して流失したためと考えられます。なお、ノリ網には二次芽の付着も認められました。

ワカメ:谷川で仮沖出し中のワカメ種糸の一部について、幼葉が少なくなる現象が発生しました。魚類による食害の可能性もあります。

*ノリ・ワカメの異常が疑われる場合は、水産技術センターへ葉体を持参していただければ、随時検査しますので利用してください。